

(4) <算数>誤答が多かった問題

【出題の趣旨】

日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合をして捉えられる数量の関係について考察できるかどうかをみる。

【分析結果と課題】

<正答の条件>番号を「1」と選び、次のA又はBのいずれかで、それぞれA①、A②の全て又はB①、B②の全てを書いている。

A 道のりが等しいこと、かかった時間を基に、わけを書いている。

- A① かなたさんとほのかさんが歩いた道のりが等しいことを表すことばや数
- A② かなたさんがかかった時間がほのかさんがかかった時間よりも短いことを表す言葉や数

B かなたさんとほのかさんのそれぞれの歩く速さを基に、わけを書いている。

- B① かなたさんの歩く速さを表す数や式、言葉
- B② ほのかさんの歩く速さを表す数や式、言葉

本校では、A①は書いているが、A②を書いている回答が最も多くみられました。

道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題があると考えられます。

【正答】

(例1)【番号】1 【わけ】かなたさんの家から学校までの道のりは1200mです。かなたさんとほのかさんが歩いた道のりは1200mで同じです。かかった時間は、かなたさんの方が短いです。道のりが同じとき、時間が短いほど速さが速いので、かなたさんの方が速いです。

(例2)【番号】1 【わけ】かなたさんの家から学校までの道のりは1200mです。だから、かなたさんの歩く速さは、 $1200 \div 300 = 60$ で、分速60mです。ほのかさんの歩く速さは、 $1200 \div 24 = 50$ で、分速50mです。だから、かなたさんの方が速いです。

(5) 今後の課題

全国平均と比較して、国語と算数ともに「良好」となっており、良い結果となっています。今回の国語、算数のテスト結果の誤答から、考えを書く力に課題があると考えます。書く力を育てるには、自分の考えを持つことが重要と考えています。今年度は「友だちと関わり合い学び合う子どもの育成」のテーマのもと、対話を通して学びを広げ深める授業づくり～を研究の重点に据え、全校で傾聴三動作(うなずき・相づち・称賛)を実践し「聴き合い」と「対話」の取り組みを推進しています。自

かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。

家から学校までの道のり

かなたさんの家 300m 900m 学校 1200m ほのかさんの家

家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。  
家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。  
それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。  
下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。  
1と2の番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

1 かなたさん  
2 ほのかさん

分の考えを持つ力、伝える力を子どもたちに付け、さらにそれを書くことで表現する力を引き続き育てていきたいと思ひます。

3 児童質問紙調査結果(令和6年度)

生活面および学習面で、児童にアンケート形式で調査した結果を表しています。調査項目の中から25項目を抜粋し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の項目を合わせたものを全国平均と比較して記載しています。

	質問内容	回答率(%)	
		本校	全国
1	朝食を毎日食べていますか	90.3	93.7
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	81.5	82.9
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.6	96.5
4	自分には、よいところがあると思いますか	88.6	84.1
5	将来の夢や目標を持っていますか	79.8	82.4
6	人が困っているときは、進んで助けますか	92.2	92.7
7	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.4	96.7
8	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	98.2	95.9
9	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	81.7	75.8
10	友達関係に満足していますか	89.5	91.1
11	わからないことや詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	90.3	80.7
12	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり3時間以上、勉強をしますか	22.8	11.0
13	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり4時間以上勉強をしますか	16.7	7.3
14	新聞を読んでいますか	19.3	11.6
15	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	84.2	83.5
16	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	67.6	57.6
17	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	88.6	86.3
18	学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習へつなげることができていますか	91.2	80.8
19	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか	91.2	83.7
20	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	99.1	91.6
21	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	89.5	82.5
22	国語の勉強は大切だと思いますか	98.3	94.5
23	国語の授業の内容はよく分かりますか	94.8	86.3
24	算数の勉強は大切だと思いますか	97.4	94.3
25	算数の授業の内容はよく分かりますか	90.4	82.1

◇「人が困っているときは、進んで助ける」の割合が92.2%、「人の役に立つ人間になりたい」の割合が98.2%ととても高く、人のために考えて動くとする素晴らしい気持ちを持っています。一方、「将来の夢や目標を持っていますか」の割合が全国を下回っています。子どもたち自身が自己肯定感を高められるよう、教職員一人ひとりが、子どもたちの良いところを見つけて積極的に褒めて伝え続ける必要があると考えます。